

現行の保育所保育指針における発達過程に応じた保育の内容【ねらい】

※【 】内の表題は、事務局が便宜的に記載したもの。

発達課程区分	ね ら い
【健康・安全】	
6か月未満児	(1)保健的で安全な環境をつくり、常に体の状態を細かく観察し、疾病や異常は早く発見し、快適に生活できるようにする。
6か月から1歳3か月未満児	(1)保健的で安全な環境をつくり、体の状態を細かく観察し、疾病や異常の発見に努め、快適に生活できるようにする。
1歳3か月から2歳未満児	(1)保健的で安全な環境をつくり、体の状態を観察し、快適に生活できるようにする。
2歳児	(1)保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。
3歳児	(1)保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。
4歳児	(1)保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。
5歳児	(1)保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。
6歳児	(1)保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。
【生命の保持と情緒の安定】	
6か月未満児	(2)一人一人の子どもの生活のリズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。 (3)一人一人の子どもの状態に応じて、スキンシップを十分にとりながら心身ともに快適な状態をつくり、情緒の安定を図る。
6か月から1歳3か月未満児	(2)一人一人の子どもの生活のリズムを重視して、食欲、睡眠、排泄などの生理的欲求を満たし、生命の保持と生活の安定を図る。 (3)一人一人の子どもの甘えなどの依存欲求を満たし、情緒の安定を図る。
1歳3か月から2歳未満児	(2)一人一人の子どもの生理的欲求や甘えなどの依存欲求を満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
2歳児	(2)一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
3歳児	(2)一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
4歳児	(2)一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
5歳児	(2)一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
6歳児	(2)一人一人の子どもの欲求を十分に満たし、生命の保持と情緒の安定を図る。
【食事】	
6か月未満児	(4)個人差に応じて授乳を行い、離乳を進めて、健やかな発育・発達を促す。
6か月から1歳3か月未満児	(4)離乳を進め、様々な食品に慣れさせながら幼児食への移行を図る。
1歳3か月から2歳未満児	(3)様々な食品や調理形態に慣れ、楽しい雰囲気のもとで食べることができるようにする。
2歳児	(3)楽しんで食事、間食をとることができるようにする。
3歳児	(3)楽しんで食事や間食をとることができるようにする。
4歳児	(3)友達と一緒に食事をしたり、様々な食べ物を食べる楽しさを味わうようにする。

5歳児	(3)食事をすることの意味が分かり、楽しんで食事や間食をとるようにする。
6歳児	(3)できるだけ多くの種類の食べ物を取り、楽しんで食事や間食をとるようにする。
【適切な休息】	
6か月未満児	
6か月から1歳3か月未満児	
1歳3か月から2歳未満児	(4)一人一人の子どもの状態に応じて、睡眠など適切な休息をとるようにし、快適に過ごせるようにする。
2歳児	(4)午睡など適切に休息の機会をつくり、心身の疲れを癒して、集団生活による緊張を緩和する。
3歳児	(4)午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。
4歳児	(4)午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。
5歳児	(4)午睡など適切な休息をさせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。
6歳児	(4)午睡など適切な休息をとらせ、心身の疲れを癒し、集団生活による緊張を緩和する。
【基本的な習慣、態度】	
6か月未満児	
6か月から1歳3か月未満児	
1歳3か月から2歳未満児	(5)安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの活動を通して、自分でしようとする気持ちが芽生える。
2歳児	(5)安心できる保育士との関係の下で、食事、排泄などの簡単な身の回りの活動を自分でしようとする。
3歳児	(5)食事、排泄、睡眠、衣服の着脱などの生活に必要な基本的な習慣が身につくようにする。
4歳児	(5)自分でできることに喜びを持ちながら、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣を次第に身につける。
5歳児	(5)自分でできることの範囲を広げながら、健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 (6)安全や危険の意味やきまりが分かり、危険を避けて行動する。
6歳児	(5)体や病気について関心を持ち、健康な生活に必要な基本的な習慣や態度を身につける。 (6)安全に必要な基本的な習慣や態度を身につけ、そのわけを理解して行動する。
【運動・遊び】	
6か月未満児	(5)安全で活動しやすい環境の下で、寝返りや腹ばいなど運動的な活動を促す。
6か月から1歳3か月未満児	(5)姿勢を変えたり、移動したり様々な身体活動を十分に行えるように、安全で活動しやすい環境を整える。
1歳3か月から2歳未満児	(6)安全で活動しやすい環境の中で、自由に体を動かすことを楽しむ。
2歳児	(6)保育士と一緒に全身や手や指を使う遊びを楽しむ。
3歳児	(6)外遊びを十分にするなど、遊びの中で体を動かす楽しさを味わう。
4歳児	(6)身近な遊具や用具を使い、十分に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
5歳児	(7)様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団遊びを通して体を動かすことを楽しむ。
6歳児	(7)様々な遊具や用具を使い、複雑な運動や集団的な遊びを通して体を動かすことを楽しむ。

【人間関係】	
6か月未満児	
6か月から1歳3か月未満児	
1歳3か月から2歳未満児	(7)安心できる保育士の見守りの中で、身の回りの大人や子どもに関心を持ち関わろうとする。
2歳児	(7)身の回りに様々な人がいることを知り、徐々に友達と関わって遊ぶ楽しさを味わう。
3歳児	(7)身近な人と関わり、友達と遊ぶことを楽しむ。
4歳児	(7)保育士や友達の言うことを理解しようとする。 (8)友達とのつながりを広げ、集団で活動することを楽しむ。 (9)異年齢の子どもに関心を持ち、関わりを広める。
5歳児	(8)周りの人々に対する親しみを深め、集団の中で自己主張したり、また、人の立場を考えながら行動する。 (9)異年齢の子どもたちと遊ぶ楽しさを味わう。
6歳児	(8)進んで身近な人と関わり、信頼感や愛情を持って生活する。 (9)身近な人との関わりの中で、人の立場を理解して行動し、進んで集団での活動に参加する。 (10)進んで異年齢の子どもたちと関わり、生活や遊びなどで役割を分担する楽しさを味わう。
【環境】	
6か月未満児	(7)安心できる人的、物的環境のもとで、聞く、見る、触れるなど感覚の働きが豊かになるようにする。
6か月から1歳3か月未満児	(7)聞く、見る、触るなどの経験を通して、感覚や手や指の機能を働かそうとする。
1歳3か月から2歳未満児	(8)身の回りの様々なものを自由にいじって遊び、外界に対する好奇心や関心を持つ。
2歳児	(8)身の回りのものや親しみの持てる小動物や植物を見たり、触れたり、保育士から話を聞いたりして興味や関心を広げる。
3歳児	(8)身近な動植物や自然事象に親しみ、自然に触れ十分に遊ぶことを楽しむ。 (9)身近な社会事象に親しみ、模倣したりして遊ぶことを楽しむ。 (10)身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、生活を広げていく。
4歳児	(10)身近な動植物に親しみ、それらに関心や愛情を持つ。 (11)身の回りの人々の生活に親しみ、身近な社会の事象に関心を持つ。 (12)身近な環境に興味を持ち、自分から関わり、身の回りの事物や数、量、形などに関心を持つ。
5歳児	(10)身近な社会や自然の環境と触れ合う中で、自分たちの生活との関係に気づき、それらを取り入れて遊ぶ。 (11)日常生活に必要な事物を見たり、扱ったりなどして、その性質や存在に興味を持ったり、数、量、形などへの関心を深める。
6歳児	(11)身近な社会や自然の環境に自ら関わり、それらと自分たちの生活との関係に気づき、生活や遊びに取り入れる。 (12)身近な事物や事象に積極的に関わり、見たり扱ったりする中で、その性質や数、量、形への関心を深める。

【言葉】	
6か月未満児	(6)笑ったり、泣いたりする子どもの状態にやさしく応え、発声に应答しながら喃語を育む。
6か月から1歳3か月未満児	(6)優しく語りかけたり、発声や喃語に应答したりして、発語の意欲を育てる。
1歳3か月から2歳未満児	(9)保育士の話しかけや、発語が促されたりすることにより、言葉を使うことを楽しむ。
2歳児	(9)保育士を仲立ちとして、生活や遊びの中で言葉のやりとりを楽しむ。
3歳児	(11)生活に必要な言葉がある程度分かり、したいこと、して欲しいことを言葉で表す。
4歳児	(13)人の話を聞いたり、自分の経験したことや思っていることを話したりして、言葉で伝える楽しさを味わう。
5歳児	(12)様々な機会や場で活発に話したり、聞いたりして、生活の中で適切に言葉を使う。
6歳児	(13)自分の経験したこと、考えたことなどを適切な言葉で表現し、相手と伝え合う楽しさを味わう。 (14)人と話し合うことや、身近な文字に関心を深め、読んだりすることの楽しさを味わう。
【言葉・表現】	
6か月未満児	
6か月から1歳3か月未満児	(8)絵本や玩具、身近な生活用具が用意された中で、身の回りのものに対する興味や好奇心が芽生える。
1歳3か月から2歳未満児	(10)絵本、玩具などに興味を持って、それらを使った遊びを楽しむ。 (11)身近な音楽に親しみ、それに合わせた体の動きを楽しむ。
2歳児	(10)保育士と一緒に人や動物などの模倣をしたり、経験したことを思い浮かべたりして、ごっこ遊びを楽しむ。 (11)興味のあることや経験したことなどを生活や遊びの中で、保育士とともに好きなように表現する。
3歳児	(12)絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しむ。 (13)様々なものを見たり触れたりして、面白さ・美しさなどに気づく。 (14)感じたことや思ったことを描いたり、歌ったり、体を動かしたりして、自由に表現しようとする。
4歳児	(14)絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、イメージを広げ、言葉を豊かにする。 (15)身近な事物などに関心をもち、それらの面白さ、不思議さ、美しさなどに気づく。 (16)感じたことや思ったこと、想像したことなどを様々な方法で自由に表現する。
5歳児	(13)絵本、童話、視聴覚教材などを見たり聞いたりして、その内容や面白さを楽しみ、イメージを豊かに広げる。 (14)身近な社会や自然事象への関心が高まり、様々なものの面白さ、不思議さ、美しさなどに感動する。 (15)感じたことや思ったこと、想像したことなどを自由に工夫して、表現する。
6歳児	(15)絵本や童話、視聴覚教材などを見たり、聞いたりして様々なイメージを広げるとともに、想像することの楽しさを味わう。 (16)身近な社会や自然事象への関心を深め、美しさ、やさしさ、尊さなどに対する感覚を豊かにする。 (17)感じたことや思ったこと、想像したことなどを、様々な方法で工夫して自由に表現する。

現行の保育所保育指針における発達過程に応じた保育の内容【内容】

< 3歳未満児 >

※ 【 】内の表題は、事務局が便宜的に記載したもの。

発達過程区分	内 容
【健康状態等の把握】	
6か月未満児	(1)一人一人の子どもの健康状態を把握し、異常のある場合は適切に対応する。 (2)一人一人の子どもの心身の発育や発達の状態を的確に把握する。
6か月から1歳3か月未満児	(1)一人一人の子どもの健康状態を把握し、異常のある場合は適切に対応する。 (2)一人一人の子どもの心身の発育や発達の状態を的確に把握する。
1歳3か月から2歳未満児	(1)一人一人の子どもの健康状態を把握し、異常のある場合は適切に対応する。 (2)一人一人の子どもの心身の発育・発達の状態を的確に把握する。
2歳児	(1)一人一人の子どもの健康状態や発育・発達状態を把握し、異常のある場合は適切に対応する。
【身の回りの清潔・安全】	
6か月未満児	(3)体、衣服、身の回りにあるものを、常に清潔な状態にしておく。
6か月から1歳3か月未満児	(3)体、衣服、身の回りにあるものを、常に清潔な状態にしておく。
1歳3か月から2歳未満児	(3)体、衣服、身の回りにあるものを、常に清潔な状態にしておく。
2歳児	(2)生活環境を常に清潔な状態に保つとともに、身の回りの清潔や安全の習慣が少しずつ身につくようにする。
【子どもとの関わり（受容・信頼関係）】	
6か月未満児	(4)一人一人の子どもの生理的欲求を十分に満たし、保育士の愛情豊かな受容的な関わりにより、気持ちのよい生活ができるようにする。
6か月から1歳3か月未満児	(4)一人一人の子どもの生理的欲求を十分に満たし、保育士の愛情豊かな受容により気持ちのよい生活ができるようにする。
1歳3か月から2歳未満児	(4)一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。
2歳児	(3)一人一人の子どもの気持ちを理解し、受容することにより、子どもとの信頼関係を深め、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。
【食事】	
6か月未満児	(5)授乳は、抱いて微笑みかけたり、優しく言葉をかけたりしながら、ゆったりとした気持ちで行う。 (6)ミルク以外の味やスプーンから飲むことに慣れるようにし、嘱託医などと相談して一人一人の子どもの状態に応じて離乳を開始する。
6か月から1歳3か月未満児	(5)楽しい雰囲気の中で、喜んで食事ができるようにし、嘱託医などと相談して離乳を進めながら、次第に幼児食に移行させる。
1歳3か月から2歳未満児	(5)楽しい雰囲気の中で、昼食や間食が食べられるようにする。 (6)スプーン、フォークを使って一人で食べようとする気持ちを持つようにする。
2歳児	(4)楽しい雰囲気の中で、自分で食事しようとする気持ちを持たせ、嫌いなものでも少しずつ食べられるようにする。また、食事の後、保育士の手助けによって、うがいなどを行うようにする。

【睡眠】	
6か月未満児	(7)一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心してよく眠れるように環境を整える。
6か月から1歳3か月未満児	(6)一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、眠いときは安心して十分に眠ることができるようにする。
1歳3か月から2歳未満児	(7)一人一人の子どもの生活のリズムを大切にしながら、安心して午睡などをし、適切な休息ができるようにする。
2歳児	(5)落ち着いた雰囲気の中で十分に眠る。
【排泄】	
6か月未満児	(8)おむつが汚れたら、優しく言葉をかけながらこまめに取り替え、きれいになった心地よさを感じることができるようにする。
6か月から1歳3か月未満児	(7)一人一人の子どもの排尿間隔を把握しながら、おむつが汚れたら、優しく言葉をかけながらこまめに取り替え、きれいになった心地よさを感じることができるようにする。
1歳3か月から2歳未満児	(8)おむつやパンツが汚れたら、優しく言葉をかけながら取り替え、きれいになった心地よさを感じることができるようにする。 (9)一人一人の子どもの排尿間隔を知り、おむつが汚れていないときに便器に座らせ、うまく排尿できたときはほめることなどを繰り返し、便器での排泄に慣れるようにする。
2歳児	(6)自分から、あるいは言葉をかけてもらうなどして便所に行き、保育士が見守る中で自分で排泄する。
【健康増進】	
6か月未満児	(9)一人一人の子どもの状態に応じて、嘱託医などと相談して、積極的に健康増進を図る。
6か月から1歳3か月未満児	(8)一人一人の子どもの状態に応じて、嘱託医などと相談して、積極的に健康増進を図る。
1歳3か月から2歳未満児	
2歳児	
【衣服の調節・着脱】	
6か月未満児	(10)室内外の温度、湿度に留意し、子どもの健康状態に合わせて衣服の調節をする。
6か月から1歳3か月未満児	(9)室内外の温度、湿度に留意し、子どもの健康状態に合わせて衣服の調節をする。
1歳3か月から2歳未満児	(10)室内外の温度、湿度に留意し、子どもの状態に合わせて衣服の調節をする。 (11)保育士の優しい言葉かけと援助で、衣服の着脱に興味を持つようにする。
2歳児	(7)簡単な衣服は一人で脱ぐことができるようになり、手伝ってもらいながら一人で着るようになる。
【清潔に関する基本的な習慣】	
6か月未満児	(11)授乳、食事の前後や汚れたときは、優しく言葉をかけながら顔や手を拭く。
6か月から1歳3か月未満児	(10)食事の前後や汚れたときは、顔や手を拭いて、清潔になることの快さを喜ぶようにする。
1歳3か月から2歳未満児	(12)食事の前後や汚れたときは顔や手を拭いて、きれいになった快さを感じることができるようにする。
2歳児	(8)顔を拭く、手を洗う、鼻を拭くなどを保育士の手を借りながら少しずつ自分でする。

【運動・遊び等】

6か月未満児	<p>(12) 立位で抱かれたり、屈伸、腹ばいなど体位を変えてもらって遊びを楽しむ。</p> <p>(13) 子どもに優しく語りかけをしたり、歌いかけたり、泣き声や喃語に答えながら、保育士との関わりを楽しいものにする。</p> <p>(14) 優しく言葉をかけてもらいながら、聞いたり、見たり、触ったりできる玩具などで遊びを楽しむ。</p>
6か月から1歳3か月未満児	<p>(11) 寝返り、はいはい、お座り、伝い歩き、立つ、歩くなどそれぞれの状態に合った活動を十分に行う。</p> <p>(12) つまむ、たたく、ひっぱるなど手や指を使って遊ぶ。</p> <p>(13) 喃語や片言を優しく受け止めてもらい、発語や保育士とのやりとりを楽しむ。</p> <p>(14) 生活や遊びの中での保育士のすることに興味を持ったり、模倣したりすることを楽しむ。</p> <p>(15) 保育士の歌を楽しんで聞いたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しむ。</p> <p>(16) 保育士と一緒にきれいな色彩のものや身近なものの絵本を見る。</p> <p>(17) 保育士に見守られて、玩具や身の回りのもので一人遊びを十分に楽しむ。</p>
1歳3か月から2歳未満児	<p>(13) 登る、降りる、跳ぶ、くぐる、押す、引っ張るなどの運動を取り入れた遊びや、いじる、たたく、つまむ、転がすなど手や指を使う遊びを楽しむ。</p> <p>(14) 保育士に見守られ、外遊び、一人遊びを十分に楽しむ。</p> <p>(15) 好きな玩具や遊具、自然物に自分から関わり、十分に遊ぶ。</p> <p>(16) 保育士の話しかけを喜んだり、自分から片言でしゃべることを楽しむ。</p> <p>(17) 興味ある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣をしたりして遊ぶ。</p> <p>(18) 保育士と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、また、体を動かしたりして遊ぶ。</p>
2歳児	<p>(9) 走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う運動を取り入れた遊びや、つまむ、丸める、めくるなどの手や指を使う遊びを楽しむ。</p> <p>(10) 自分の物、人の物の区別に気づくようになる。保育士の適切な援助によって自分の物の置き場所が分かる。</p> <p>(11) 保育士の仲立ちによって、共同の遊具などを使って遊ぶ。</p> <p>(12) 身の回りの小動物、植物、事物などに触れ、それらに興味、好奇心を持ち、探索や模倣などをして遊ぶ。</p> <p>(13) 生活に必要な簡単な言葉を聞き分け、また、様々な出来事に関心を示し、言葉で表す。</p> <p>(14) 保育士と一緒に簡単なごっこ遊びをする中で言葉のやりとりを楽しむ。</p> <p>(15) 絵本や紙芝居を楽しんで見たり聞いたりし、繰り返しの言葉の模倣を楽しむ。</p> <p>(16) 保育士と一緒に、水、砂、土、紙などの素材に触れて楽しむ。</p> <p>(17) 保育士と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて、体を動かしたりして遊ぶ。</p>

現行の保育所保育指針における発達過程に応じた保育の内容【内容】

< 3歳以上児（5領域別） >

発達過程区分		内 容
健	3歳児	(1)楽しい雰囲気の中で、様々な食べ物を進んで食べようとする。
	4歳児	(1)食べ慣れないものや嫌いなものでも少しずつ食べようとする。
	5歳児	(1)体と食物の関係に関心を持つ。
	6歳児	(1)体と食物との関係について関心を持つ。
	3歳児	(2)便所には適宜一人で行き、排尿、排便を自分でする。
	4歳児	(2)排泄やその後の始末などは、ほとんど自分でする。
	5歳児	(2)排泄の後始末を上手にする。
	6歳児	(2)自分の排泄の後始末だけでなく、人に迷惑をかけないように便所の使い方が上手になる。
康	3歳児	(3)保育士に寄り添ってもらいながら、午睡などの休息を十分にとる。
	4歳児	(3)嫌がるときもあるが、保育士が言葉をかけることなどにより午睡や休息をする。
	5歳児	(3)午睡や休息を自分から進んでする。
	6歳児	(3)休息するわけが分かり、運動や食事の後は静かに休む。
	3歳児	(4)保育士の手助けを受けながら、衣服を自分で着脱する。
	4歳児	(4)衣服などの着脱を順序よくしたり、そのときの気候や活動に合わせて適宜調節をする。
	5歳児	(4)自分で衣服を着脱し、必要に応じて衣服を調節する。
	6歳児	(4)自分で衣服を着脱し、必要に応じて調節する。
3歳児	(5)保育士の手助けにより、自分で手洗いや鼻をかむなどして清潔を保つ。	
4歳児	(5)自分で鼻をかんだり、顔や手を洗うなど、体を清潔にする。	
5歳児	(5)うがい、手洗いの意味が分かり、体や身の回りを清潔にする。	
6歳児	(5)清潔にしておくことが、病気の予防と関係があることが分かり、体や衣服、持ち物などを清潔にする。	

健	3歳児	(6)体の異常を、少しは自分から訴える。	
	4歳児	(6)体の異常について、自分から保育士に訴える。	
	5歳児	(6)体の異常について、自分から保育士に訴える。	
	6歳児	(6)自分や友達の体の異常について、保育士に知らせる。	
	3歳児	(7)危ない場所に近づくことが少なくなり、危険な遊びに気づく。	
	4歳児	(7)危険なものや場所について分かり、遊具、用具などの使い方に気をつけて遊ぶ。	
	5歳児	(7)危険なものに近寄ったり、危険な場所で遊ばないなど、安全に気をつけて遊ぶ。	
6歳児	(7)生活の中で、危険を招く事態が分かり、気をつけて行動する。		
康	3歳児	(8)外で十分に体を動かしたり、様々な遊具や用具などを使った運動や遊びを楽しむ。	
	4歳児	(8)進んで外で体を十分に動かして遊ぶ。 (9)遊具、用具や自然物を使い、様々な動きを組み合わせる積極的に遊ぶ。	
	5歳児	(8)積極的に外で遊ぶ。 (9)様々な運動器具に進んで取り組み、工夫して遊ぶ。 (10)友達と一緒に様々な運動や遊びをする。	
	6歳児	(8)積極的に外で様々な運動をする。 (9)様々な運動器具や遊具を使い、友達と一緒に工夫して、遊びを発展させる。 (10)自分の目標に向かって努力し、積極的に様々な運動をする。	

	発達過程区分	内 容
人間関係	3歳児	(1) 保育士に様々な欲求を受け止めてもらい、保育士に親しみを持ち安心感を持って生活する。
	4歳児	(1) 保育士や友達などとの安定した関係の中で、いきいきと遊ぶ。
	5歳児	(1) 保育士や友達などとの安定した関係の中で、意欲的に遊ぶ。
	6歳児	(1) 保育士や友達などとの安定した関係の中で、意欲的に生活や遊びを楽しむ。
	3歳児	(2) 友達とごっこ遊びなどを楽しむ。 (3) 遊具や用具などを貸したり借りたり、順番を待ったり交代したりする。 (4) 簡単なきまりを守る。 (5) 保育士の手伝いをするを喜ぶ。 (6) 遊んだ後の片づけをするようになる。
	4歳児	(2) 自分のしたいと思うこと、してほしいことをはっきり言うようになる。 (3) 友達と生活する中で、きまりの大切さに気づき、守ろうとする。 (4) 保育士の言うことや友達の考えていることを理解して行動する。 (5) 身の回りの人に、いたわりや思いやりの気持ちを持つ。 (6) 手伝ったり、人に親切にすることや、親切にされることを喜ぶ。 (7) 他人に迷惑をかけたら謝る。 (8) 共同のものを大切にし、譲り合って使う。
	5歳児	(2) 簡単なきまりをつくり出したりして、友達と一緒に遊びを発展させる。 (3) 自分の意見を主張するが、相手の意見も受け入れる。 (4) 友達と一緒に食事をし、食事の仕方が身に付く。 (5) 友達への親しみを広げ、深め、自分たちでつくったきまりを守る。 (6) 友達への思いやりを深め、一緒に喜んだり悲しんだりする。 (7) 人に迷惑をかけないように人の立場を考えて行動しようとする。 (8) 共同の遊具や用具を譲り合って使う。
	6歳児	(2) 集団遊びの楽しさが分かり、きまりを作ったり、それを守ったりして遊ぶ。 (3) 進んで自分の希望や意見、立場を主張したり、一方で相手の意見を受け入れたりする。 (4) 友達との生活や遊びの中できまりがあることの大切さに気づく。 (5) 自分で目標を決め、それに向かって友達と協力してやり遂げようとする。 (6) 友達との関わりの中でよいことや悪いことがあることが分かり、判断して行動する。 (7) 共同の遊具や用具を大切にし、譲り合って使う。
	3歳児	(7) 年上の友達と遊んでもらったり、模倣して遊んだりする。 (8) 地域の人と触れ合うことを喜ぶ。
	4歳児	(9) 年下の子どもに親しみを持ったり、年上の子どもとも積極的に遊ぶ。 (10) 地域のお年寄りなど身近な人の話を聞いたり、話しかけたりする。 (11) 外国の人など、自分とは異なる文化を持った人の存在に気づく。
	5歳児	(9) 異年齢の子どもとの関わりを深め、思いやりやいたわりの気持ちを持つ。 (10) 地域のお年寄りなど身近な人に感謝の気持ちを持つ。 (11) 外国の人など自分とは異なる文化を持った様々な人に関心を持つようになる。
	6歳児	(8) 自分より年齢の低い子どもに、自ら進んで声かけをして誘い、いたわって遊ぶ。 (9) 外国の人など自分とは異なる文化をもった様々な人に関心を持ち、知ろうとするようになる。

発達過程区分		内 容
環	3歳児	(1)身近な動植物をはじめ自然事象をよく見たり、触れたりなどして驚き、親しみを持つ。
	4歳児	(1)身近な動植物の世話を楽しんで行い、愛情を持つ。
	5歳児	(1)身近な動植物に関心を持ち、いたわり、世話をする。
	6歳児	(1)身近な動植物に親しみ、いたわったり、進んで世話をしたりする。
境	3歳児	(2)身近な人々の生活を取り入れたごっこ遊びを楽しむ。 (3)自分のものと人のものとの区別を知り、共同のものとの区別にも気づく。 (5)様々な用具、材料に触れ、それを使って遊びを楽しむ。 (4)身近な事物に関心を持ち、触れたり、集めたり、並べたりして遊ぶ。
	4歳児	(2)自然や身近な事物・事象に触れ、興味や関心を深める。 (3)身近にある公共施設に親しみ、関わることを喜ぶ。 (4)身近にある乗り物に興味や関心を示し、それらを遊びに取り入れようとする。 (5)自分のもの、人のものを知り、共同のものとの区別に気づき、大切にしようとする。 (6)身近な大人の仕事や生活に興味を持ったり、それらを取り入れたりして遊ぶ。 (7)身近にある用具、器具などに関心を持ち、いじったり、試したりする。
	5歳児	(2)自然事象が持つ、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気づく。 (3)身近な公共施設や交通機関などに興味や関心を持つ。 (4)近隣の生活に興味や関心を持ち、人々が様々な営みをしていることに気づく。 (5)身近にいる大人が仕事をしている姿を見て、自らも進んで手伝いなどをしようとする。 (6)自然や身近な事物・事象に関心を持ち、それを遊びに取り入れ、作ったり、工夫したりする。 (7)身近な用具、器具などに興味を持ち、その仕組みや性質に関心を持つ。 (8)身近な物を大切に扱い、自分の持ち物を整頓する。 (9)生活の中で物を集めたり、分けたり、整理したりする。
	6歳児	(2)自然事象の性質や変化、大きさ、美しさ、不思議さなどに関心を深める。 (3)身近な公共施設などの役割に興味や関心を持つ。 (4)保育所や地域でみんなが使うものを大切にする。 (5)大人が仕事をするの意味が分かり、工夫して手伝いなどをできるようになる。 (6)季節により人間の生活に変化のあることに気づく。 (7)季節により自然に変化があることが分かり、それについて理解する。 (8)自然や身近な事物・事象に関心を持ち、それらを取り入れて遊ぶ。 (9)日常生活に必要な用具、器具などに興味や関心を持ち、安全に扱う。 (10)身近にある事物の働きや仕組み、性質に興味や関心を持ち、考えたり、試したり、工夫したりして使おうとする。 (11)身近なものを整頓する。

環 境	3歳児	(6)生活や遊びの中で、身の回りの物の色、数、量、形などに興味を持ち、違いに気づく。
	4歳児	(8)具体的な物を通して、数や量などに関心を持ち、簡単な数の範囲で数えたり比べたりすることを楽しむ。 (9)身の回りの物の色、形などに興味を持ち、分けたり、集めたりして遊ぶ。
	5歳児	(10)簡単な数の範囲で、物を数えたり、比べたり、順番を言ったりする。 (11)生活の中で、前後、左右、遠近などの位置の違いや時刻、時間などに関心や興味を持つ。
	6歳児	(12)日常生活の中で簡単な数を数えたり、順番を理解する。 (13)日常生活の中で数や量の多少は、形に関わりがないことを理解する。 (14)身近にある標識や文字、記号などに関心を示す。 (15)身の回りの物には形や位置などがあることに関心を持つ。 (16)生活や遊びの中で時刻、時間などに関心を持つ。
	3歳児	(7)保育所の行事に参加して、喜んだり楽しんだりする。
	4歳児	(10)保育所内外の行事に楽しんで参加する。
	5歳児	(12)保育所内外の行事に喜んで参加する。 (13)祝祭日などに関心を持ち生活に取り入れて遊ぶ。
	6歳児	(17)保育所内外の行事に進んで参加し、自分なりの役割を果たす。 (18)祝祭日などに関心を持ち生活に取り入れて遊ぶ。

	発達過程区分	内 容
言	3歳児	(1) あいさつや返事など生活や遊びに必要な言葉を使う。
	4歳児	(1) 日常生活に必要なあいさつをする。
	5歳児	(1) 親しみを持って日常のあいさつをする。
	6歳児	(1) 日常のあいさつ、伝言、質問、応答、報告が上手になる。
葉	3歳児	(2) 自分の思ったことや感じたことを言葉に表し、保育士や友達と言葉のやりとりを楽しむ。 (3) 保育士にして欲しいこと、困ったことを言葉で訴える。 (4) 保育士に、いろいろな場面で、なぜ、どうして、などの質問をする。 (5) 興味を持った言葉を、面白がって聞いたり言ったりする。 (7) ごっこ遊びの中で、日常生活での言葉を楽しんで使う。
	4歳児	(2) 話しかけられたり、問いかけられたりしたら、自分なりに言葉で返事をする。 (3) 身の回りの出来事に関する話に興味を持つ。 (4) 友達との会話を楽しむ。 (5) 見たことや聞いたことを話したり、疑問に思ったことを尋ねる。 (6) 保育士の話を親しみを持って聞いたり、保育士と話したりして、様々な言葉に興味を持つ。
	5歳児	(2) 話しかけや問いかけに対し適切に応答する。 (3) 身近な事物や事象などについて話したり、名前や日常生活に必要な言葉を使う。 (4) 人の話を注意して聞き、相手にも分かるように話す。 (5) 考えたこと経験したことを保育士や友達に話して会話を楽しむ。
	6歳児	(2) 身近な事物や事象について話したり、日常生活に必要な言葉を適切に使う。 (3) みんなで共通の話題について話し合うことを楽しむ。 (4) 話し相手や場面の違いにより、使う言葉や話し方が違うことに気づく。 (5) 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。
	3歳児	(6) 絵本や童話などの内容が分かり、イメージを持って楽しんで聞く。
	4歳児	(7) 絵本や童話などを読み聞かせてもらい、イメージを広げる。
	5歳児	(6) 童話や詩などを聞いたり、自ら表現したりして、言葉の面白さや美しさに興味を持つ。 (7) 絵本、童話などに親しみ、その面白さが分かって、想像して楽しむ。 (8) 生活に必要な簡単な文字や記号などに関心を持つ。
	6歳児	(6) 童話や詩などの中のある言葉の面白さ、美しさに気づき、自ら使って楽しむ。 (7) 絵本や物語などに親しみ、内容に興味を持ち、様々な想像して楽しむ。 (8) 身近にある文字や記号などに興味や関心を持ち、それを使おうとする。

	発達過程区分	内 容
表	3歳児	(1)身の回りの様々なものの音、色、形、手ざわり、動きなどに気づく。
	4歳児	(1)様々なものの音、色、形、手ざわり、動きなどに気づき、驚いたり感動したりする。
	5歳児	(1)様々な音、形、色、手ざわり、動きなどを周りのものの中で気づいたり見つけたりして楽しむ。
	6歳児	(1)様々な音、形、色、手ざわり、動きなどに気づき、感動したこと、発見したことなどを創造的に表現する。
	3歳児	(2)音楽に親しみ、聞いたり、歌ったり、体を動かしたり、簡単なリズム楽器を鳴らしたりして楽しむ。
	4歳児	(2)友達と一緒に音楽を聴いたり、歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らしたりして楽しむ。
	5歳児	(2)音楽に親しみ、みんなと一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして、音色の美しさやリズムの楽しさを味わう。
	6歳児	(2)音楽に親しみ、みんなと一緒に聴いたり、歌ったり、踊ったり、楽器を弾いたりして、音色やリズムの楽しさを味わう。
現	3歳児	(3)様々な素材や用具を使って、好きなように描いたり、扱ったり、形を作ったりして遊ぶ。 (4)動物や乗り物などの動きを模倣して、体で表現する。 (5)絵本や童話などに親しみ、興味を持ったことを保育士と一緒に言ったり、歌ったりなど様々に表現して遊ぶ。
	4歳児	(3)感じたこと、思ったことや想像したことなどを様々な素材や用具を使って自由に描いたり、作ったりすることを楽しむ。 (4)童話、絵本、視聴覚教材などを見たり、聞いたりしてイメージを広げ、描いたり、作ったり様々に表現して遊ぶ。 (5)作ったものを用いて遊んだり、保育士や友達と一緒に身の回りを美しく飾って楽しむ。 (6)身近な生活経験をごっこ遊びに取り入れて遊ぶ楽しさを味わう。
	5歳児	(3)様々な素材や用具を利用して描いたり、作ったりすることを工夫して楽しむ。 (4)身近な生活に使う簡単なものや様々な遊びに使うものを工夫して作る。 (5)友達と一緒に描いたり、作ったりすることや身の回りを美しく飾ることを楽しむ。 (6)自分の想像したものを体の動きや言葉などで表現したり、興味を持った話や出来事を演じたりして楽しむ。
	6歳児	(3)様々な素材や用具を適切に使い、経験したり、想像したことを、創造的に描いたり、作ったりする。 (4)身近な生活に使う簡単や物や、遊びに使う物を工夫して作って楽しむ。 (5)協力し合って、友達と一緒に描いたり、作ったりすることを楽しむ。 (6)感じたこと、想像したことを、言葉や体、音楽、造形などで自由な方法で、様々な表現を楽しむ。 (7)自分や友達の表現したものを互いに聞かせ合ったり、見せ合ったりして楽しむ。 (8)身近にある美しいものを見て、身の回りを美しくしようとする気持ちを持つ。